

シンポジウム

地域の公共交通をどのように守っていくべきか ～ JR北海道の路線存廃問題を考える～

日時 平成29年3月8日(水) 13:50～17:30

会場 北海道大学工学部 鈴木章ホール
(フロンティア応用化学研究棟 レクチャーホール)

入場無料・定員190名(申込先着順)

主催 北海道大学 交通インテリジェンス研究室
地域のおでかけ交通のあり方研究会

後援 土木学会北海道支部、日本都市計画学会
北海道支部(予定)、北海道都市地域学会(予定)、
国土交通省北海道運輸局、
北海道

危機的な経営状況にあるJR北海道が「当社単独では維持することが困難な線区」を発表したことで、北海道の鉄道の路線存廃問題が表面化しました。それに対して、北海道が設置した鉄道ネットワークワーキングチームでのとりまとめ結果が公表されました。今後はそれぞれの主体が鉄道、地域の公共交通をどうするのかを考えていく必要があります。

本シンポジウムでは地域公共交通の研究者が集まり、全国の他の地域も参考にしながら、地域の公共交通をどのようにして守っていくべきかを議論します。

プログラム

13:50～14:00 主旨説明

14:00～15:30 話題提供

加藤 博和 (名古屋大学大学院 環境学研究科 准教授)

岸 邦宏 (北海道大学大学院 工学研究院 准教授)

吉田 樹 (福島大学 経済経営学類 准教授)

宮崎 耕輔 (香川高等専門学校 建設環境工学科 准教授)

大井 尚司 (大分大学 経済学部 准教授)

板谷 和也 (流通経済大学 経済学部 教授)

休憩15分

15:45～17:30 パネルディスカッション

「地域の公共交通をどのように守っていくべきか～ JR北海道の路線存廃問題を考える～」

パネリスト 加藤 博和、吉田 樹、宮崎 耕輔、大井 尚司、板谷 和也

コーディネーター 岸 邦宏



札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学工学部 フロンティア応用化学研究棟

自家用車でのカンパスへの入構はできません。公共交通機関・タクシーをご利用ください。

シンポジウム 地域の公共交通をどのように守っていくべきか ～ JR北海道の路線存廃問題を考える～

日時 平成29年3月8日(水) 13:50～17:30 (開場13:20)

会場 北海道大学工学部 鈴木章ホール
(フロンティア応用化学研究棟 レクチャーホール)

入場無料・定員190名(申込先着順) 定員に達した時点で受付を締め切らせていただきます

参加申込方法 (電子メールのみとさせていただきます)

参加希望の方のご所属・お名前を電子メールにてお送りください。

jrsympo@eng.hokudai.ac.jp (申込専用アドレス)

いただいた個人情報につきましては、参加者把握および後日成果公表のご連絡以外の目的では一切使用いたしません。

シンポジウム事務局

〒060-8628 札幌市北区北13条西8丁目

北海道大学大学院工学研究院 交通インテリジェンス研究室

E-mail jrsympo@eng.hokudai.ac.jp 電話 011-706-6209 (岸准教授室)